

【男の子育て】

竹田市 K.Mさん

生後3ヶ月の娘、その日から僕はパパの自覚がでた。里帰りで嫁は僕の実家に帰ってきて、これからの生活が始まった。1日のほとんど、ママと過ごしている娘。夜パパが帰るとすごく笑ってごはんもお風呂も全部ママ…。頑張ってお風呂に入れたらすごく不安がって泣いたね。パパもお風呂の時いつも自信をなくして「やっぱりママがいいんだね。」と思う時がありました。パパの役目って一体どういうことをすればいいんだ。でも食事を僕があげたらおいしそうに食べてよろこぶ所をみたら、「やっぱりパパじゃないとダメだね」って思ったよ。(笑)

初めてしゃべった言葉も「パパ。」とってもうれしくて、忘れないよ。仕事をしてキツイ時も娘は笑って「パパ」と言ってくれて、もう疲れなんかふきとんだぐらい。その頃からお風呂もパパと2人で楽しく入るようになった。

パパが仕事の時、娘は体調が悪くなった時すごく心配しました。本当はそばにずっといたい…。その時ママがいてくれたから僕は安心した。すごく心配なのに、ママがそばにいることで僕は、今は仕事頑張って、すぐにまた電話した。病気の時ママじゃないとダメだ。1才半ぐらいにママが子育てサポート広場に行きだした。月4、5回ママが広場に行ってるから、どんな所か興味がでてきた。仕事が平日休みの時、思いきって子育て広場にママと娘と僕で行ってみた。

広場に行ったら、びっくりしました。おもちゃの数、スタッフの接応、でも僕男一人…。すごく、きまずい、居づらい。正直早く帰りたい。女の人ばかりで何を話したらいいのかわからない。居づらい…。

でも、子供が来て僕にだっこ。少しうれしかった。自分の子供じゃない子に(だっこ)はびっくりして。おだやかになりました。

子育て広場ではママさんばかりで、話すことや育児の相談は、正直言うとその中の「わ」に入るのは気まづいしむずかしいけれど、パパ同士のパパ会、パパサークルとかがあったらいいと思います。

パパのサークルは広場遊びや「これからの子供の病気、熱中症」の話を聞いたりして、外遊びの遊び方を学びたいです。ママだけじゃなくパパも子供の病気をすることが大切だと僕は思います。

出産は女性しか経験できませんが、産まれてからママのサポートをすることがイクメンだと思います。自分の子供だからこそママと協力して子育てすることが夫婦です。

育児は毎日大変だけれど、子供の笑顔が一番のよく効く薬です。疲れていやなこともあっても、子供がいてくれて、今が幸せなんだと思うようになりました。

子供が産まれて本当に人生と心が変わりました。これからもママと協力して子供のために働いて、家族の笑顔を守っていきたいです。

パパは「イクメンの上級者」になれるように頑張りたいです。